

病虫害防除技術情報第6号

平成 23 年 6 月 27 日

三重県病虫害防除所

**本田でばか苗病の発生が確認されています。
発病株を抜き取り、周辺圃場への感染を防止しましょう。**

1. 対象作物： イネ
2. 対象病虫害名： ばか苗病
3. 発生状況

ばか苗病は本田で発病すると、葉鞘や節間が伸びて草丈が高く、全身が黄化し、分げつ数が少なくなる特徴があります（写真 1）。発病した株は穂ばらみ期頃に枯死しますが、白色粉状の胞子が株元につくられて飛散すると、周辺の開花中の籾に種子伝染し、翌年の発生源となります（写真 2）。

巡回調査圃場（6 月第 2 週）では、本田においてばか苗病の発生が確認されました（発生圃場率 0.3%）。一般圃場においても、ほとんどが発病株率 1% 未満の微発生ですが、数地点で確認されています。

4. 防除対策

- 1) 圃場を見回って、発生状況をよく観察してください。
- 2) 周辺圃場への感染源となりますので、発病した株はすみやかに株ごと抜き取って、焼却するか土中に埋めてください。
- 3) 特に採種圃周辺では、抜き取りを徹底してください。
- 4) 発生圃場から自家採種した種子は使用を控えるとともに、効果の高い種子消毒を徹底してください。



写真1



写真2

写真1（左） 本田で発病した徒長株
（2011年松阪市）

葉鞘や節間が伸びて草丈が高く、全身が黄化する。

写真2（右） 枯死株に形成された分生子
（2010年松阪市）

発病した株は枯死する時に胞子をつくって飛散、周辺の開花した籾に感染して拡がる。